



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔I F R S〕（連結）

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 サントリービバレッジ&フード株式会社

コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 （役職名）代表取締役社長

（氏名）木村 穰介

問合せ先責任者 （役職名）取締役専務執行役員 経営企画本部長

（氏名）沖中 直人 TEL 03-5579-1837

半期報告書提出予定日 2026年8月7日

配当支払開始予定日 2026年9月3日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	899,879	11.6	73,965	3.0	73,324	4.5	53,409	2.9	42,075	2.3	70,299	115.8
2025年12月期中間期	806,411	△1.3	71,836	△11.2	70,187	△14.0	51,901	△12.4	41,138	△11.5	32,576	△77.9

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	136.17	—
2025年12月期中間期	133.13	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	2,294,954	1,473,667	1,354,262	59.0
2025年12月期	2,218,015	1,425,198	1,315,948	59.3

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年12月期中間期	71,169	△33,850	△27,949	159,817
2025年12月期中間期	41,973	△40,486	△13,368	145,882

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2026年12月期	—	60.00			
2026年12月期（予想）			—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,826,000	6.4	155,000	4.2	154,000	4.8	110,500	0.3	89,000	0.3	288.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	309,000,000株	2025年12月期	309,000,000株
2026年12月期中間期	341株	2025年12月期	340株
2026年12月期中間期	308,999,660株	2025年12月期中間期	308,999,708株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書	7
(3) 要約中間連結包括利益計算書	8
(4) 要約中間連結持分変動計算書	9
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、真のグローバル飲料企業として持続的な事業成長と企業価値向上を実現すべく“質の高い成長”を目標に掲げています。2024年からスタートした中期経営計画においては、「ブランド戦略」、「構造改革」、「DEI（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）」、「サステナビリティ」の4つを重要な戦略テーマに掲げ、積極的に事業を展開しています。

当中間連結会計期間の連結売上収益は、コアブランドを中心とした積極的なマーケティング活動や、新たな価値創造を通じた需要創出の取り組みが奏功し、8,999億円（前年同期比11.6%増、為替中立5.4%増）となりました。連結営業利益は、マーケティング費用の増加及び原材料価格や物流費の高騰による影響を受けたものの、為替影響により740億円（前年同期比3.0%増、為替中立5.4%減）となりました。これに伴い、親会社の所有者に帰属する中間利益は421億円（前年同期比2.3%増、為替中立6.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社は、海外事業の迅速な変革と一体経営を行うべく、2026年1月1日付で組織変更を実施しました。これに伴い、従来、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」としていた報告セグメントを、2026年度より「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」に変更しました。前年同期比較では、前中間連結会計期間の数値を、変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しています。

[日本事業]

売上収益は、3,601億円（前年同期比4.6%増）となりました。

飲料市場（当社推定）の販売数量は、価格改定の影響が継続する中、前年同期を下回りましたが、当社販売数量は、持続的なコアブランド強化に加え、「ギルティ炭酸 NOPE」をはじめとする新商品の投入により、前年同期を上回りました。

ブランド別には、コアブランドのうち、特に大容量商品で販売数量減の影響を受けた「GREEN DA・KA・RA」を除き、「サントリー天然水」、「BOSS」、「伊右衛門」の販売数量が前年同期を上回りました。「サントリー天然水」は、マーケティング活動に加え、新商品の投入等が奏功し、販売数量増に寄与しました。「BOSS」は、「クラフトボス 甘くない イタリアーノ」が伸長しました。「伊右衛門」は、大容量及び小容量商品に加え、「伊右衛門 濃い味（機能性表示食品）」も堅調に推移しました。特定保健用食品・機能性表示食品においては、2025年10月に発売した「特水」が増分に寄与しました。

セグメント利益は、原材料価格や物流費の高騰による影響を受けたものの、価格改定効果に加え販売数量増による増収効果により、213億円（前年同期比16.8%増）となりました。

[欧州事業]

売上収益は、2,119億円（前年同期比12.0%増、為替中立0.7%減）となりました。

フランスは、引き続き消費低迷の影響を受け販売数量が減少しましたが、為替の影響により増収となりました。イギリスは、「Lucozade」が好調に推移し、販売数量が前年同期を上回り増収となりました。スペインは、商品ポートフォリオの拡充と積極的なマーケティング活動により増収となりました。

セグメント利益は、工場再編に伴う一過性の費用発生やマーケティング費用増の影響により、303億円（前年同期比6.6%減、為替中立16.6%減）となりました。

[アジア事業]

売上収益は、1,696億円（前年同期比12.9%増、為替中立4.3%増）となりました。

飲料事業については、ベトナムでは、積極的なマーケティング活動が奏功し、炭酸カテゴリーの「PEPSI」、水カテゴリーの「Aquafina」を中心に販売数量が前年同期を上回り、増収となりました。タイでは、主力ブランドである「PEPSI」の販売数量が前年同期を上回り、増収となりました。

健康食品事業（タイ及びインドシナ半島）については、販売数量増に加え為替の影響もあり、増収となりまし

た。

セグメント利益は、199億円（前年同期比0.8%減、為替中立9.3%減）となりました。

[オセアニア事業]

売上収益は、600億円（前年同期比69.7%増、為替中立49.0%増）となりました。

エナジーカテゴリーにおいて販売数量が前年同期を上回ったことに加え、RTDアルコール飲料においては、2025年7月よりオーストラリア、2026年1月よりニュージーランドでの販売開始が寄与し、増収となりました。

セグメント利益は、増収効果と為替の影響により、52億円（前年同期比156.2%増、為替中立106.2%増）となりました。

[米州事業]

売上収益は、982億円（前年同期比12.5%増、為替中立5.5%増）となりました。

価格改定効果に加え、エナジー及び炭酸カテゴリーにおける新商品の投入が寄与したことにより、増収となりました。

セグメント利益は、増収効果はあったものの製造コスト高騰の影響を受け、103億円（前年同期比0.1%増、為替中立6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、主要通貨の為替レートが円安になったことに加え、売上債権及びその他の債権、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ769億円増加して2兆2,950億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ285億円増加して8,213億円となりました。

資本合計は、利益剰余金の増加、主要通貨の為替レートが円安になったことに伴うその他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ485億円増加して1兆4,737億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ112億円増加し、1,598億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間利益733億円、減価償却費及び償却費453億円、仕入債務及びその他の債務の増加209億円等に対し、売上債権及びその他の債権の増加183億円、棚卸資産の増加213億円等により、資金の収入は前年同期と比べ292億円増加し、712億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出349億円等により、資金の支出は前年同期と比べ66億円減少し、339億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額185億円、リース負債の返済による支出69億円等により、資金の支出は前年同期と比べ146億円増加し、279億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年7月の令和8年熊本地震により、当社が清涼飲料の製造を委託しているサントリー九州熊本工場等において、一部に被害が発生しました。現在、当社業績への影響を含め詳細を調査中です。

現時点において、2026年2月12日に公表した連結業績予想に変更はありません。不確実性の高い状況が継続するとの想定のもと、引き続き、全セグメントで価値創造を通じた数量拡大と収益成長の両立を図り、業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	148,663	159,817
売上債権及びその他の債権	401,239	424,883
その他の金融資産	2,719	4,437
棚卸資産	137,528	161,051
その他の流動資産	35,892	40,538
小計	726,043	790,728
売却目的で保有する資産	1,114	2,227
流動資産合計	727,157	792,956
非流動資産		
有形固定資産	518,141	524,130
使用権資産	67,570	65,201
のれん	299,861	301,300
無形資産	565,445	568,770
持分法で会計処理されている投資	135	148
その他の金融資産	15,013	14,457
繰延税金資産	17,486	20,488
その他の非流動資産	7,203	7,501
非流動資産合計	1,490,858	1,501,998
資産合計	2,218,015	2,294,954

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	14,950	15,543
仕入債務及びその他の債務	503,547	531,010
その他の金融負債	26,064	24,612
未払法人所得税等	16,957	16,852
引当金	1,546	1,605
その他の流動負債	11,139	14,989
流動負債合計	574,205	604,613
非流動負債		
社債及び借入金	506	470
その他の金融負債	61,533	58,210
退職給付に係る負債	16,155	16,209
引当金	11,191	10,790
繰延税金負債	120,624	123,832
その他の非流動負債	8,599	7,160
非流動負債合計	218,611	216,673
負債合計	792,817	821,286
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	185,493	185,516
利益剰余金	767,388	790,731
自己株式	△1	△1
その他の資本の構成要素	194,683	209,632
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,315,948	1,354,262
非支配持分	109,249	119,404
資本合計	1,425,198	1,473,667
負債及び資本合計	2,218,015	2,294,954

(2) 要約中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
	百万円	百万円
売上収益	806,411	899,879
売上原価	△499,042	△567,174
売上総利益	307,369	332,705
販売費及び一般管理費	△233,309	△256,363
持分法による投資損益	121	△40
その他の収益	2,017	1,871
その他の費用	△4,362	△4,207
営業利益	71,836	73,965
金融収益	1,381	1,182
金融費用	△3,030	△1,823
税引前中間利益	70,187	73,324
法人所得税費用	△18,286	△19,915
中間利益	51,901	53,409
中間利益の帰属		
親会社の所有者	41,138	42,075
非支配持分	10,762	11,333
中間利益	51,901	53,409
1株当たり中間利益 (円)	133.13	136.17

(3) 要約中間連結包括利益計算書

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
	百万円	百万円
中間利益	51,901	53,409
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	104	△135
確定給付制度の再測定	75	17
純損益に振り替えられることのない項目合計	180	△117
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△18,056	17,139
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	△1,444	△137
持分法投資に係る包括利益の変動	△4	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△19,505	17,007
税引後その他の包括利益	△19,324	16,890
中間包括利益	32,576	70,299
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	29,726	56,832
非支配持分	2,849	13,467
中間包括利益	32,576	70,299

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月1日	168,384	185,311	716,919	△1	138,973	1,209,587	105,690	1,315,278
中間利益			41,138			41,138	10,762	51,901
その他の包括利益					△11,411	△11,411	△7,913	△19,324
中間包括利益合計	—	—	41,138	—	△11,411	29,726	2,849	32,576
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△20,084			△20,084	△6,441	△26,526
非支配持分との取引		21				21	△26	△5
利益剰余金への振替			423		△423	—		—
所有者との取引額合計	—	21	△19,661	△0	△423	△20,063	△6,468	△26,531
2025年6月30日	168,384	185,333	738,397	△1	127,137	1,219,251	102,071	1,321,322

当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年1月1日	168,384	185,493	767,388	△1	194,683	1,315,948	109,249	1,425,198
中間利益			42,075			42,075	11,333	53,409
その他の包括利益					14,756	14,756	2,133	16,890
中間包括利益合計	—	—	42,075	—	14,756	56,832	13,467	70,299
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△18,539			△18,539	△3,278	△21,818
非支配持分との取引		22				22	△33	△11
利益剰余金への振替			△192		192	—		—
所有者との取引額合計	—	22	△18,732	△0	192	△18,517	△3,312	△21,829
2026年6月30日	168,384	185,516	790,731	△1	209,632	1,354,262	119,404	1,473,667

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	70,187	73,324
減価償却費及び償却費	39,840	45,335
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	94	265
受取利息及び受取配当金	△1,369	△1,173
支払利息	2,061	1,745
持分法による投資損益(△は益)	△121	40
棚卸資産の増減額(△は増加)	△31,064	△21,267
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△38,203	△18,285
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	30,575	20,871
その他	△7,001	△11,655
小計	65,000	89,202
利息及び配当金の受取額	1,630	1,243
利息の支払額	△2,279	△1,781
法人所得税の支払額	△22,378	△17,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,973	71,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△42,121	△34,910
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,653	940
その他	△18	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,486	△33,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	20,098	805
長期借入金の返済による支出	△39	△47
リース負債の返済による支出	△6,896	△6,877
配当金の支払額	△20,084	△18,539
非支配持分への配当金の支払額	△6,441	△3,278
その他	△5	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,368	△27,949
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,882	9,368
現金及び現金同等物の期首残高	160,493	148,663
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△2,728	1,785
現金及び現金同等物の中間期末残高	145,882	159,817

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ミネラルウォーター、コーヒー飲料、茶系飲料、炭酸飲料、スポーツ飲料、特定保健用食品、酒類等の飲料・食品の製造・販売を行っており、国内では当社及び当社の製造・販売子会社が、海外では各地域の現地法人がそれぞれ事業活動を展開しています。したがって、当社グループの報告セグメントはエリア別で構成されており、「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」の5つを報告セグメントとしています。セグメント間の内部売上収益は第三者間取引価格に基づいています。

なお、当社は、海外事業の迅速な変革と一体経営を行うべく、2026年1月1日付で組織変更を実施しました。これに伴い、従来、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」としていた報告セグメントを、第1四半期連結会計期間より「日本事業」、「欧州事業」、「アジア事業」、「オセアニア事業」、「米州事業」に変更しました。前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント					合計	調整額	連結
	日本	欧州	アジア	オセアニア	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部顧客への売上収益	344,189	189,261	150,259	35,370	87,330	806,411	—	806,411
セグメント間の内部売上収益又は振替高	40	268	358	—	—	667	△667	—
計	344,230	189,529	150,617	35,370	87,330	807,078	△667	806,411
セグメント利益	18,252	32,411	20,095	2,046	10,247	83,053	△11,217	71,836

当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

	報告セグメント					合計	調整額	連結
	日本	欧州	アジア	オセアニア	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部顧客への売上収益	360,091	211,943	169,600	60,011	98,233	899,879	—	899,879
セグメント間の内部売上収益又は振替高	51	271	—	—	—	322	△322	—
計	360,142	212,214	169,600	60,011	98,233	900,202	△322	899,879
セグメント利益	21,325	30,267	19,927	5,241	10,260	87,021	△13,056	73,965

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。